千葉県誕生150周年記念事業について

資料２－２

○事業の概要について

○県記念事業について

- 各部局における150周年記念事業
- 地域行事

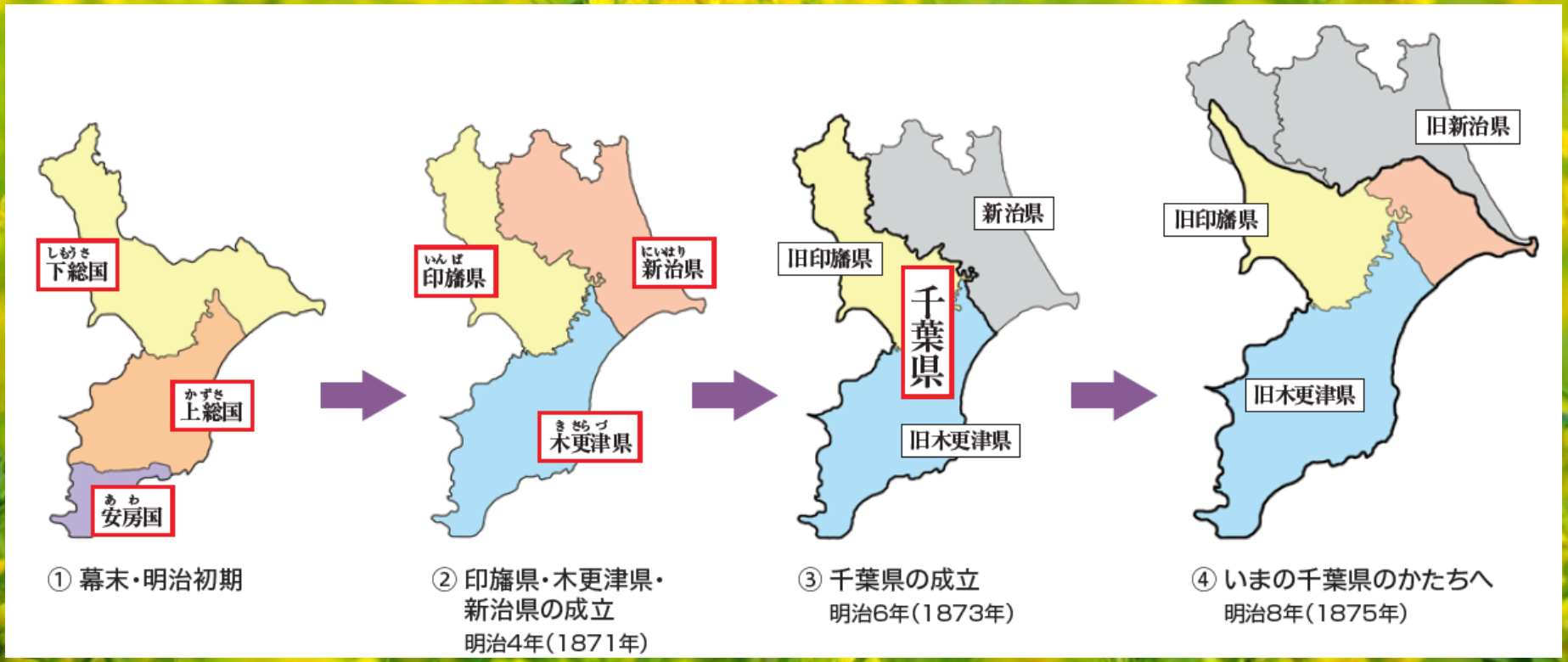
○市町村記念事業について

- 補助金交付申請状況及び連携状況
- 実施スケジュール（補助金第一次申請分）

千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

令和５年（２０２３年）に
千葉県は誕生１５０周年を迎えます

千葉県の成立は明治6年！（1873年）



＊事業概要について

テーマ　　～県誕生から１５０年を振り返り、続いていく未来に思いを馳せる～

背　景

新型コロナウイルス感染症や自然災害による経済や県民生活への影響

文化の祭典でもある東京オリンピック・パラリンピックの財産の継承

豊かな自然環境と優れた都市環境を持つ本県ならではの多様な文化資源

東京に隣接する一方で、三方を海に囲まれ、里山等の豊かな自然に恵まれた県土

千葉県誕生１５０周年記念事業の実施

○コンセプト

東京の隣接性を意識しつつ、千葉の豊かな自然環境(海、里山、川、水辺)を活かす

○キーワード

アート　食　音　楽　映　像　テクノロジー　カンファレンス　SDGs

市町村が主体となって実施する中核イベントや記念行事を募集し、県から補助金を交付

効　果

県内外の交流人口増加による地域経済の活性化

地域の魅力を再発見することで郷土への誇りを高め、県民の千葉への愛着を深める

千葉のブランド価値の創出・向上

新たな文化芸術の価値を創造できる社会

令和５年６月～令和６年６月までの１年間を１５０周年と位置付け、これまでの１５０年を振り返るとともに、続いていく未来（１００年後の千葉県）を県民が考える機会に

＊県記念事業ー各部局における150周年記念事業

文化振興課で行う主なもの

- 市町村支援
- 広報
- 千葉交響楽団記念コンサート（令和5年12月23日、市原市市民会館）
- 記念事業の推進体制
- オープニングイベント（記念式典含む。令和5年6月11日、松戸市　森のホール21、21世紀の森と広場）
- フィナーレイベント（令和6年6月、開催場所は調整中）

美術館・博物館関係

①みんなで創る「ふるさとちば古写真デジタルアーカイブ」（中央博物館）
県民が所有する千葉県の歴史に関わる古写真を貴重な資料として未来にわたって引き継いでいくために、県立博物館の所蔵資料とともにデジタルアーカイブ化し、県民が自由に閲覧できるようにする。（4～9月写真募集、7月～県内各地でパネル巡回展）

②特別展「よみがえるチバニアン期の古生物」（中央博物館）
チバニアン期の房総に棲んでいた海と陸上の生物の化石を一同に紹介し、当時の千葉県がどのような生物が棲む、どのような環境であったのかを鮮やかに甦らせ、チバニアン期についての正しい理解を促す。（7月15日～9月18日）

③「房総の海をめぐる光と影とアート展」（県立美術館）
伝統的なアートと現代アートを対比しながら、本県の海の文化を中心とする自然の美しさに注目した展覧会を開催する。（7月19日～9月18日）

④プラネタリウム上映会（現代産業科学館）
プラネタリウムにおいて、千葉県各地でみられる星空をテーマに鮮やかな星空を映し出す。（8月4日～8月23日）

⑤オランダとの文化交流事業（県立美術館）
東京2020大会で千葉県がホストタウンとなったオランダとの交流事業として、オランダ人アーティスト、テオ・ヤンセンの特別展を開催し、代表作である「ストランド・ビースト」を県内の海岸で歩行させる。（10月27日～1月21日）

⑥企画展「地図は世につれ　人につれ」（関宿城博物館）
江戸期以降に描かれた地図を来館者が散歩するように読み取り、地図から見える地域の姿に思いを馳せることで、千葉県内の歴史に対する興味関心を高める。（9月29日～11月26日）

⑦企画展「はかる」（現代産業科学館）
千葉県ゆかりの偉人である伊能忠敬などの功績によって発展を遂げてきた測量に関する歴史的な進歩と最新技術について紹介する。（10月14日～12月3日）

⑧企画展「アーツ・アンド・クラフツの広がり」（県立美術館）
150年ほど前のイギリスで興った「アーツ・アンド・クラフツ運動」を紹介することで、千葉県の近代デザインに新たな光を当てる。（1月30日～3月24日）